

# みらい通信

## 第24号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所  
連絡先 〒028-3318  
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2  
電話 019-671-2244  
FAX 019-671-2243  
Email miraiken@shiwa-mirai.com  
URL <http://www.shiwa-mirai.com>  
発行日 平成19年12月12日

## 11月定例会の様子

11月4日の定例会では12人の会員が集まり、今年行なった事業の反省会を行いました。

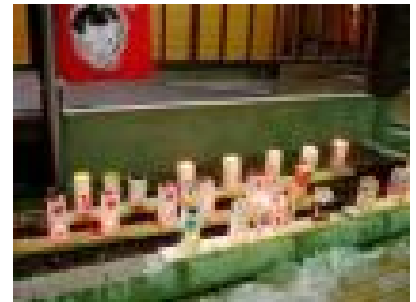
事業の目的、内容、参加者の募集方法、フィールド選びなど、それぞれの参加した事業について良かった点、反省すべき点を書き出し、来年度につなげるように確認しあいました。



定例会の様子

## 1月定例会

来月の定例会は1月9日(水)に行ないます。1月26日(土)、27日(日)に行なわれる「紫波冬まつり」にあわせて、紫波中央駅に飾る「夢あかり」づくりを行ないます。ジャムやコーヒーなどの空き瓶にロウソクを入れ、模様を描きます。空き瓶、ロウソクもまだまだ集めています。ご協力お願いします。



昨年度の夢あかり

# けやき学園ポット苗づくり 行ないました

11月14日(水) けやき学園

来年の平成の森植林に向けて、けやき学園の皆さんに苗木ポットを作ってもらい、どんぐりの里親になっていただきました。

コンニャクの絞りかすから作られた生分解性の苗木ポットと、けやき学園の皆さんがつくった紙製の苗木ポットを使い、クヌギやミズナラなどのどんぐりを植えました。



みんなで作った苗木ポット



苗木ポットづくりの様子



丈夫に育ちますように

# エコスクールの様子 開催しました

11月13日、20日、27日(毎週木曜 15時~17時)

環境・循環PRセンター 参加者 延べ32人

## コネコネマイせっけんづくり

11月に開催したエコスクールは、食用廃油を使って作られている、粘土のようにやわらかい石けんで自分だけの形をつくる、コネコネマイせっけんづくりです。

3日間で近隣の小学生、中学生延べ32人が集まり、楽しみながら、なぜ石けんを使うことが良いことなのか、自分たちの使っている石けんはどのようなものなのかということなどを話し合い、知ってもらいました。

エコスクールは来月以降もテーマを変えて行なう予定です。皆さんもぜひ遊びに来てください!



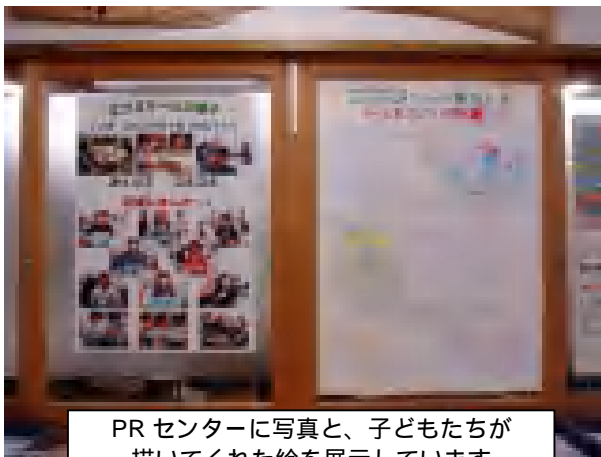
みんな一緒にコネコネ!



ちょ~楽しい!



かわいい石けんができました



PRセンターに写真と、子どもたちが描いてくれた絵を展示しています

## エコスクール12月以降の予定

### 12月の予定

13日(木)、20日(木)

午後3時~5時

クリスマスリース、お正月かざりづくり

ツルやダンボールを使って、クリスマスリースや、お正月かざりをつくりま



### 1月の予定

10日(木)、17日(木)、24日(木)

午後1時~5時

夢あかりづくり

1月下旬に行なわれる紫波冬まつりで紫波中央駅に飾る、「夢あかり」づくりを行ないま



昨年度の夢あかり

# 紫波の食をおいしくつくる 開催しました

12月6日(水) 紫波中央駅北側待合施設 参加者 24人

JA いわて中央農協しわ黒豚生産者の会会長の熊谷明夫さんに、しわ黒豚を育てるこだわりやおいしさ、栄養などについてお話をいただきました。

参加者の皆さんはしわ黒豚のしゃぶしゃぶや豚汁を試食しながら、しわ黒豚の料理の仕方などを聞きました。

名前は聞いたことがあるけれど、販売店が少なく、あまりなじみのなかったしわ黒豚ですが、これを機会に町民に広く知ってもらえるのではないかと思います。



講師の熊谷明夫さん



しわ黒豚のしゃぶしゃぶを試食

## 参加者の感想(抜粋)

### Q あなたが今日気づいたことは？

- ・肉といってもいろいろあるのは知りつつ、黒豚のお話は初めてでとてもよかったです。
- ・黒豚がとてもおいしかった。これから塩、コショウだけの野菜炒めなど作ってみたい。

### Q 嬉しく思ったこと、満足したことは？

- ・豚についていろいろお話を聞き、こんなにすばらしい栄養素を持っていることに感動した。
- ・黒豚の飼育に精を出しているらっしゃる熱意が伝わるお話が聞けたこと。黒豚に対する新しい知識がもられたこと。

### Q 不満に思ったこと、悲しかったことは？

- ・紫波では黒豚を作っている農家が5軒だけ、後継者がいるのは熊谷明夫さんのところだけということが残念に思います。

### Q その他

- ・熊谷さんのお話、とてもわかりやすく、まだまだ色々な話を聞きたいと思いました。
- ・脂身が多いし、高価なので敬遠していましたが、これからは時々「しわ黒豚」を食べようと思います。

## 2007年(第35回)毎日農業記録賞(毎日新聞主催) 一般部門最優秀賞 細川栄子さん受賞

紫波みらい研究所の理事、あぐりちゃや代表などの多忙な日々を送りながら、地元・紫波町特産の餅米ヒメノモチを飼料に使った「しわ牛」をブランド化させた細川栄子さん。

受賞作「私の『牛飼い』人生」の執筆は「畜産一筋の軌跡を見つめ直し、記録するいい機会になった」と語り、「将来は子どもたちが畜産を体験し、命の大切さを学べるような公開牧場をつくりたい」と夢を膨らませた。(毎日新聞掲載記事より抜粋)



紫波町長に受賞を報告する細川栄子さん

# 投稿—ふれあい広場—

## 向日葵の油を搾った

記事：環境マイスター紫波 佐々木光春)

5月に種を蒔いたひまわりの苗200本をJR紫波中央駅付近の空き地に植え、町民の方々に楽しんで戴く積もりで、紫波みらい研究所と環境マイスター紫波の有志10名が6月14日早朝、植え込みました。

8月に入り、ぼちぼち咲き始めました。(種類はロシアン・サンフラワー)

乗降客が立ち止まるのが見受けられました。そして花が終わり、実がなり、鳥が群がり、実の重みで首がたれ、茶褐色になりました。

10月3日跡始末も兼ねて花冠の部分を取り、茎を整理。実からは油が取れる、ということで実を採り、乾燥、さらに唐箕<sup>とうみ</sup>にかけ選別、搾油<sup>まきゆ</sup>の準備が出来ました。

ところが何処に問い合わせても搾油しているところがありませんでした。農機具店、搾油機メーカーなどに問い合わせ、さらに東北農業研究所に相談しました。小型機器にかけると、実を脱穀して搾油することができました。さらに自宅で、コーヒーフィルターを利用し、ようやく完成。ひまわりの色に似たきれいな油が出来ました。12月雪の降る日でした。

プロセスを整理すると、

5~6月=200本 10月 種5kg 唐箕4kg 脱穀2kg 12月搾油350cc

推定するに1本1.5~2.0ccくらいです。

油は多分最後は石鹸にでもしたいと思います。

(19年 ヒマワリ日記より)

以上は環境学習の練習でしたが、もう少し勉強が必要のようです。

御協力戴いた皆様に感謝いたします。



ひまわり苗植えの様子



搾り取ったひまわり油



8月のひまわり

### 環境・循環 PR センター冬季休業のお知らせ

12月29日(土)~1月3日(木)の間、環境・循環 PR センターは冬季休業とさせていただきます。

ご了承ください。

### 会員数

個人会員 91人  
個人会員 4団体  
賛助会員 4団体